

自民、「連合と連携」明示 党大会統一選・5補選 結束訴え

自民党大会が26日、東京都内のホテルで開かれ、岸田文雄首相（党総裁）は、4月投開票の統一地方選や衆参5選挙区で実施見通しの補欠選挙について、「国民政黨の基盤を担う最も大切な選挙。いずれも今後の国政に影響を与えるかも知れない」と結束と必勝を求めた。採択した党運動方針では、野党最大の支持団体である連合との「連携強

化」を明示した。▼3面世論に応えず、6面=社説首相は冒頭、公明党について「この連立の枠組みこそが政治の安定の基盤」と強調した。昨夏の安倍晋三元首相銃撃事件にも触れ、元首で開く主要7カ国首脳会議(G7サミット)成功に広島で開く主要7カ国首脳会議(G7サミット)成功

先送りできない課題として、防衛力強化や新型コロナウイルス禍からの経済再生、エネルギー危機への対応、子育て政策をあげ、5月の基礎を、しっかりと勝利して固めていきたい」と呼びかけた。

党運動方針では、「政策懇談などを通じて連合並びに友好的な労働組合との連携を強化する」と連合との関係強化の意思を明確に書き込んだ。（磯部佳寿）

されない課題」として、国で検討を進めるとした。

一方で、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）と自民議員の接点問題や、昨年相次いだ政治とカネの問題などには触れなかった。

来賓であげさせた公明

の山口那津男代表は、統一地方選へ自民候補の推薦を進めていることをあげ、「足元の基礎を、しっかりと勝利して固めていきたい」と

呼びかけた。

党運動方針では、「政策懇談などを通じて連合並びに友好的な労働組合との連携を強化する」と連合との関係強化の意思を明確に書き込んだ。（磯部佳寿）